

第七十四回帝國議會 院 昭和十三年法律第六十四號中改正法律案兌換銀行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル件(外一件) 委員會議錄(速記)第六回

會議

昭和十四年三月二十日(月曜日)午前十一時 二十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 岡崎久次郎君

理事大野 一造君 理事世耕 弘一君

理事坂田 道男君

松尾 四郎君 松田 正一君

宮澤 胤勇君 野方 次郎君

小笠原三九郎君 武田德三郎君

南 鼎三君 伊禮 肇君

豐田 收君 野溝 勝君

三月十八日昭和十四年法律第二號中改正法律案(昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

對滿事務局事務官 竹内 徳治君

大藏政務次官 松村 光三君

大藏書記官 松隈 秀雄君

大藏書記官 尾關 將玄君

陸軍主計大佐 大塚 彪雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

災害被害者ニ對スル租税ノ減免、徴收猶豫等ニ關スル法律案(政府提出)

登録税法中改正法律案(政府提出)

有價證券移轉税法中改正法律案(政府提出)

出)

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入税ノ從量税率ニ關スル件)(政府提出)

臨時陸軍材料資金特別會計法案(政府提出)

出)

昭和十四年法律第二號中改正法律案(昭

和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

○岡崎委員長 是ヨリ開會致シマス、昭和十四年法律第二號中改正法案提案理由ノ說明ヲ承リマス

○松隈政府委員 只今議題ニナリマシタ昭和十四年法律第二號中改正法律案ノ提出ノ理由ニ付キマシテハ大藏大臣ガ説明致スベキデアリマスガ、御差支ガアリマスシ、政務官モ差支ガゴザイマスノデ、便宜私カラ御説明申上ゲマス

昭和十四年法律第二號中改正法律案提出ノ理由ハ本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲必要ナル公債發行ニ付キマシテハ、今期會議ニ於テ既ニ二回ニ互リ之ニ關スル法律案ヲ提出致シマシタル所、

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 災害被害者ニ對スル租税ノ減免、徴收猶豫等ニ關スル法律案(政府提出) 登録税法中改正法律案(政府提出) 有價證券移轉税法中改正法律案(政府提出) 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入税ノ從量税率ニ關スル件)(政府提出) 臨時陸軍材料資金特別會計法案(政府提出) 昭和十四年法律第二號中改正法律案(昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

昭和十四年度歳入歳出總豫算ニ件フ分ハ既ニ御協贊ヲ經マシテ、昭和十四年法律第二號ヲ以テ公布ニ相成ツテ居リ、又同年度歳入歳出總豫算追加第一號ニ件フ分ハ目下本會議ニ於テ御審議中ニ屬スルノデアリマス

ルガ、今回別途提出致シマシタル昭和十四年度歳入歳出總豫算追加第二號ニ計上シテアリマスル經費ノ所要財源總額一億九千三十餘万圓ノ内普通歳入ヲ以テ充當スベキ分八百八十餘万圓ト、道路公債法ニ依ル公債金ヲ以テ充當スベキ分百四十万圓トヲ差引

キマシタル殘額一億八千九百餘万圓ニ付キマシテハ、今日ノ場合之ヲ公債財源ニ依ルノ外アリマセヌノデ、前述ノ昭和十四年法律第二號中ノ公債發行限度法定額ヲ一億八千九百十萬圓トシテ増額致シマシテ九億八千

百九十萬圓トスル爲、本法律案ヲ提出致シマ

シタ次第デアリマス、何卒御賛成ヲ願ヒマス

○世耕委員 議事進行ニ付テ……

○岡崎委員長 世耕君

○世耕委員 有價證券移轉稅法中改正法律案、茲ニ登錄稅法中改正法律案ハ他ノ委員

ノ方モ御質問ガナイヤウデアリマスガ、是ハ質問打切ニシテ、次會ニ討論ニ入ルヤウ

ニ御願ヒシタイ

災害ノ問題ニ付テ御尋致シタイノデスガ、

ドウ云フヤウナ割合ニナツテ減免サレルノ

カト云フコトニ疑問ガアルヤウデアリマス

ガ、此ノ點御説明願ヒタイト思ヒマス

○松隈政府委員 今回災害被害者ニ對スル

租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案ヲ

提案致シマシクハ、災害ガアリマシク都

度、從來ハ立法ヲ致シテ、必要ナル租稅ノ減

免徵收猶豫等ヲシテ居リマシクデゴザイ

マス、サウ致シマスト議會ノ開會中デア

ル方否カ等ニ依リマシテ法律ガ出ルコトガ遅

クナル、隨テ救濟ガ不十分デアルト云フヤ

ウナ實情デアリマシク、今回ハ豫メ災

害被害者ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等

ニ關スル法律ノ御協賛ヲ願ツテ置キマシ

テ、必要ナル減免ノ具體的事項ハ災害ノ都

度其ノ必要ニ應ジテ、勅令ヲ以テ規定致シ

タイト存ジタ次第デアリマス、隨ヒマシテ

是ハ災害ガアリマシク都度、必要ニ應ジテ

勅令ヲ以テ發動スル譯デアリマスカラ、豫

メ豫想シテ何割ヲ減免スルト云フヤウナコ

トヲ書キニクイノデアリマス、例ヘテ申上

ゲマスレバ、從來ノ災害ノ例ニ致シマシテ

モ、昭和九年ニアリマシク關西ノ風水害ノ

場合等ニ於キマシテハ、關西ノ風水害ハ九

月ノ二十一日ニゴザイマシク、隨テ所得稅

ノ第一期ノ如キモノハ納付濟デアリマス、

ソレデ減免致シマス分ハ第二期乃至第四期

分トナツテ居リマシテ、三期分デアリマス

ノデ、第三種所得金額二千圓以下ノモノニ

付テハ全額ヲ免除致シマシクケレドモ、順

次所得階級ノ區分ニ依ツテソレヲ變更

致シマシテ、五千圓以下ノモノハ十分

ノ五、一万圓以下ガ十分ノ三、一万圓ヲ

超ニルトキハ十分ノ二ト云フヤウナ割

合ヲ定メテ居リマス、之ニ反シマシテ函館

市ノ火災被害者ニ對スル租稅ノ減免ハ、

被害ガアリマシクガ三月二十一日及ビ

二十二日ト云フコトニナツテ居リマス、

隨テ所得稅ニ付テ申上ゲマス、第一期モ

第二期モ第三期モ納付濟デ、殘ツテ居ルノハ

第四期分ダケデアリマス、隨ヒマシテ之ニ

付テ何割ヲ減免スルト云ツテモ、モウ餘リ

減免スル分ガ少イノデスカラ、之ニ付テハ

全額ヲ免除致シマシクスウ云フ風ニ、災害

ノ程度、其ノ起リマシク時期等ニ依リマシ

テ、減免致シマス範圍及ビ其ノ割合ガ違ツ

テ參ルノハ已ムヲ得ナイト思ヒマス、隨ヒ

マシテ具體的ノ災害ニ應ジマシテ適當ナ割

合ヲ一々勅令デ規定シテ參リタイ、從來ハ災

害ニ關スル法律ニ基ク具體的減免割合ハ省

令デ規定シテ居リマシク、今日ハソレヲ

勅令デ規定スルコトニ致シタ次第デアリマ

ス

○世耕委員 能ク分リマシク、ソレデハ此

ノ災害ニ關スル減免猶豫ノ法律案ハ、質問

ヲ打切ツテ戴イテ結構デアリマス、ソレカ

ラ臨時陸軍材料資金特別會計法案ニ付テノ

質問ヲ致シマスガ、軍需品ノ材料及ビ原料

ト云フノハ棉花ダケデアリマスカ、マダ外

ニ羊毛ナンカモ入りマスカ

○大塚政府委員 大體考ヘテ居リマスノハ

棉花、羊毛、牛皮、麻ト云フヤウナモノガ

主ナモノデアリマス

○世耕委員 是ハ原料ダケデ、現地デ製品

ニスルトカ、或ハ工場ヲ利用スルト云フコ

トハナイノデアリマスカ、皆内地ニ輸入シ

テ内地デ製品ニスルト云フ御考デアリマセ

ウカ

○大塚政府委員 大體サウ考ヘテ居リマス

○世耕委員 其ノ外ニ御聽シクナコトモア

リマスカ、細カク質問サレタヤウデアリマ

スカラ、私ハ此ノ程度デ省略致シマス

〔速記中止〕

○岡崎委員長 速記ヲ始メマス

○世耕委員 臨時陸軍材料資金特別會計

法案ニ付テモ、御説明ニ依ツテ了承致シマ

シク、之ニ付テモ他ノ方カラモ御質疑ガ

ナイヤウデアリマスカラ、此ノ程度デ質疑

ノ打切リヲ御願致シマス

○岡崎委員長 只今カラ登錄稅法中改正法

律案、有價證券移轉稅法中改正法律案、災

害被害者ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等

ニ關スル法律案、臨時陸軍材料資金特別會

計法案、此ノ四案ヲ一括シテ議題ニ供シマ

ス、討論ヲ省略シテ直チニ採決ニ入りタイ

ト思ヒマスガ、御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○岡崎委員長 御異議ナシト認メマス、右

四案ヲ原案通り可決スルニ御異議ナイ方ノ

御起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○岡崎委員長 起立總員、滿場一致可決致

シマシク、ソレデハ是デ休憩致シマス

午前十一時五十一分休憩

午後一時二十八分開議

○岡崎委員長 只今カラ委員會ヲ開會致シマス、前四案ハ既ニ午前中ノ委員會ニ於テ可決確定ラシテ居リマスノデ、今残ツテ居リマスノハ關稅定率法中改正法律案、昭和七年法律第四號中改正法律案、昭和十四年法律第二號中改正法律案デアリマス、此ノ三案ニ付テ質疑其ノ他ヲ御許致シマス——松尾四郎君

○松尾委員 私ハ關稅定率法中改正法律案及ビ之ニ關係シマシタ外一件ノ此ノ法律案ニ付テ少シ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデゴザイマス、是ハ今回滿洲カラ輸入サレル農產品ニ對シテノ關稅ヲ引下ゲ、若シクハ無稅ニスルト云フ案デゴザイマスガ、茲ニ當業者カラ之ニ對シテ吾々ノ所ニ陳情ニ來ラレテ居リマス、其ノ意見ヲ聽キマシテ、少シ私ハ政府ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス、當業者ノ陳述ヲ聽イテ見マス、今回此ノ改正ノ爲ニ「ヒマシ」油及ビ「ヒマシ」油ノ原料何レモ無稅ニナルコトニナツテ居リマス、元ハ此ノ資料ニ御示シニナツテ居ル稅率ヲ取ラレテ居ツタモノガ無稅ニナツテ居ルノデアリマス、其ノ中原料ニ對シテハ滿洲國カラコナラニ輸出サレル物ニ對シ輸出稅ヲ滿洲デ賦課サレル、斯ウ云フコトデアリマス、サウ致シマス滿洲カラ

内地ニ入りマスモノノ原料ハ稅金ガ課カツタ高イモノガ入ツテ來ル、生産品ハ滿洲國ノ輸出稅ノ課カツテ居ナイモノガ入ツテ來ル、内地ノ生産業者ハ其ノ高イ輸出稅ヲ課ケラレタモノデ之ヲ製品ニ致シテ居リマス、サウ致シマス滿洲カラ來ル支那人ノ生産ニ依ツテ出來テ居ル油「ヒマシ」油ノ方ヲ今後油ト申シマスガ、油ノ方ハ無稅デ入ツテ來ルノデスカラ安イ物ガ來ル、内地ノ生産業者ハ、特ニ原料ダケハ輸出稅ノ課カツタ高イモノヲ以テヤラナケレバナラヌト云フ状態ニナルト思フノデアリマス、ソコデソレハ内地ノ當業者ヲ壓迫スル、斯ウ云フ結果ガ來ルノデアルト云フコトヲ陳情シテ、此ノ案ニ對シテ反對ラシテ貫ヒタイト云フ意思デアリマスガ、ソレニ對シマシテ政府ノ方デハドウ云フ風ニ御考ニナラレテ居リマスカ、此ノ點ヲ伺ヒマス

○尾關政府委員 松尾サンノ只今ノ御尋ノ、蓖麻子ノ種子ノ方ハ滿洲ヲ出ル時ニ輸出稅ガ課カツテ、油ノ方ハコナラニ入ル時ニ輸入稅ヲ課ケナイト云フコトニシタナラバ、製油業者ハ非常ナ打撃ヲ受ケルノデハナイカ、斯ウ云フ御尋ノ點ニ付テ——私カラ御答ヲ致シタイト思ヒマス、滿洲國ノ蓖麻子ノ種子ニ付テノ輸出稅ハズツト以前カラ課カツテ居リマシタ、日本ニサウ云フ種子ヲ入レテ日本デ製造致シマシタ油ハドウ云フヤウニナツテ居ルカト申シマス、一昨年一月頃ハ三十圓位、本年ハ約四十圓ニナツテ居リマスノデ、十圓モ高クナツテ居リマス、油ノ稅金ヲ今無稅ニシテ、假ニソレガ全部下ツタト致シマシテモ二圓九十七錢ノ稅金デゴザイマスカラ、ソレガ爲ニ製油業者ガ立ツテ行カナイヤウニナル、斯ウ云フコトニハナラナイト思ヒマス、種子ガ今マデ稅金ガ課カツテ居ラナカツタノヲ今度課ケルノデハナク、今マデト同ジヤウニ稅金ガ課カツテ居ツテ、ソレガ十圓高クナツテ居ル、關稅ガソレドレダケ課カツテ居ルカト云フト、二圓九十七錢デスカラ、ソレガ爲ニ製油業者ガ立ツテ行カナイト云フヤウナコトニハナラナイト思ヒマス、況ヤ現在「ヒマシ」油ノ需要狀況ヲ見マス、今ハ非常ニ足りナイノデゴザイマシテ、出來タナラバ右カラ左ニ直グ賣レテ行ク、日本デ拵ヘルノト滿洲カラ輸入シタモノノ全部ヲ集メマシテモ足りナイ、而モ其ノ用ヒルノハ此ノ前モ申上ゲマシタヤウニ軍需用デアルトカ、或ハ工業用ノ原料デアリマシテ、サウ云フ原料品トシテ用ヒラレテ居リマスノデ、關稅ヲ下ゲタカラソレダケ下ル

トハ思ハレマセヌ、モウ一度申シマスレバ關稅ガ下ツテモ製油業者ハソレガ爲ニ立ツテ行カナイト云フ問題ニアラズシテ、種子ガ入ルカ入ラナイカト云フ問題ニナルト思ヒマス、況ヤ關稅ヲ下ゲタダケデハ價格ハ下ラヌト思ヒマスノデ、サウ云フヤウニ製油業者ガ非常ナ打撃ヲ受ケルト云フヤウナコトニハ相成ラスカト存ジテ居リマス

○松尾委員 今日マデ油ニ生産シタモノモ相當數量入ツテ居ツタノデゴザイマスカ、尙ホ今現ニ入りツツアルノデゴザイマスカ、今マデハ原料ノミデアツテ、餘リ製品ハ入ラナイノデアリマスガ、ソレガ少シ分リニクイノデスガ……

○尾關政府委員 油ハ今マデト雖モ入ツテ居リマシタ、今度無稅ニナツタカラト云ツテ特別ニ澤山入ツテ來ルトハ存ジマセヌ

○竹内(德)政府委員 此ノ際私カラ滿洲ノ事情ヲ一應申述ベマシテ御諒解ヲ得タイト存ジマス、御承知ノ通り蓖麻子ハ先般來年度ノ政府側カラノ御說明デ御諒解下サイマシタ通り、殆ド全部滿洲カラ蓖麻子、「ヒマシ」油トモ入ツテ居ルト云フヤウナ關係ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、是モ先般來年度々御說明ガゴザイマシタ通り事變以來軍需ノ關係ガゴザイマシテ、此ノ供給、生産

ノ増加ヲ第一ニヤラナケレバナラス、ソレカラ生産物ニ付テモ之ヲ自由ナル用途ニ向ケルコトハ適當デナイ、軍需ノ爲ニ優先的ニ之ヲ充當シナケレバナラスト云フヤウナ事情ガゴザイマシテ、先般滿洲國ニ於キマシテモ貿易統制法ト云フモノガ制定セラレマシタガ、此ノ貿易統制法ニ依ル輸出許可制度ヲ行ヒマシタ際、其ノ許可品目ニ此ノ苧麻子ガ加ヘラレテ居ルノデゴザイマス、之ニ依リマシテ苧麻子ノ國外流出ヲ防イデ、「ヒマシ」油ノ日滿ヲ通ズル供給ヲ確保シヨウ、斯ウ云フ目的デ統制ガ行ハレテ居ルノデアリマス、苧麻子ハ斯ク統制シテ居リマスガ、「ヒマシ」油ハ現在滿洲ニ於テハマダ輸出許可制度ノ對象トナツテ居ラヌノデアリマス、是ガ爲ニ苧麻子ノ方ハ自由ナル輸出ガ抑ヘラレルガ、「ヒマシ」油ハ却テ日本以外ノ第三國ヘ流出スル虞ナキニシモアラズト云フヤウナ状態ニナツテ居リマシテ、之ニ付テ滿洲國ニ於キマシテモ現在此ノ「ヒマシ」油ノ第三國ヘノ自由ナル輸出ヲ認メテ置クコトハ、適當デナイト云フコトデ適當ナ統制方法ヲ考ヘテ居ルヤウナ状態デゴザイマス、斯様ナ状態デアリマシテ、日滿共ニ此ノ「ヒマシ」油ノ用途ハ能ク限リ軍需竝ニ必要アル工業等ニ向ケルト

云フ風ニ現在行ハレテ居ルノデゴザイマスガ、之ニ關聯シテ只今御質問ノ問題、即チ今回ノ措置ニ依ツテ「ヒマシ」油ノ生産ガ、在來滿洲カラ日本内地ニ原料ヲ持ツテ來テ製油スルモノガ相當行ハレテ居ツタ、是ガ皆滿洲現地ニ於テ油ニサレテシマツテ、内地ノ製油業者ニ其ノ原料ノ供給ヲ斷ラレル、斯ウ云フ御心配ガアルト云フノガ御質問ノ要旨デアツタト思ヒマスガ、之ニ關シテハ大體申シマス滿洲ニ於テモ、日本ニ於キマシテモ、獨リ是ハ「ヒマシ」油ニ限ラズ、大豆、蘇子其ノ他一般ノ油脂原料ヲ製造致シマスル製油工場ノ設備ト云フモノハ、現在ノ狀況ニ於キマシテハ、少シ多過ギルト云フノガ實情ヲラウト思ヒマス、隨テ滿洲ニ於キマシテモ日本内地ニ於キマシテモ、製油工場ノ總テガ現在ニ於テハ、多少ノ操業ノ短縮ヲシテ居ルヤウナ狀況ニアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、隨テ滿洲ニ於キマシテハ、其ノ中ニハ關東州ガゴザイマスガ、今ノ製油工場ノ大部分ハ大連ニアルコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、滿洲ニ於キマシテ先年重要産業統制法ト云フモノヲ出シマシテ、之ニ呼應シテ關東州ニ於テモ重要産業統制令ト云フ勅令ヲ發布致シマシタ、此ノ法令ハ日本内地ノ重要産業統制法ト著シク内容

ヲ異ニシテ居リマスガ、就中重要ナル産業ニ付テハ其ノ工場ノ設立ニハ許可制度ヲ採ツテ居ルト云フコトガ其ノ特色デゴザイマス、之ニ依リマシテ設備過剩ナルモノニ付キマシテハ、新ニ設立スルコトヲ抑制スルト云フ方針ガ採ラレテアルノデゴザイマスガ、此ノ中ニ油房即チ製油工場ト云フモノハ關東州ニ於テモ滿洲國ニ於テモ、入ツテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ法律ハ關東州ニ於キマシテハ、勅令ノ運用ニ依リマシテ、製油工場ヲ濫設シテ共倒レニナルト云フヤウナコトヲ豫防スル措置ガ講ゼラレテ居ルノデアリマスガ、先程申上ゲマシタ通り日滿共ニ油房ノ設立ト云フコトハ、寧ロ供給過剩ニナルト云フヤウナ状態ニ鑑ミマシテ、關東州ニ於キマシテモ、滿洲國ニ於キマシテモ、是ノ濫設ヲ防止シ、又同時ニ日滿共存共榮ト申シマスガ、日滿一體ノ精神ト申シマスガ、此ノ製油工場ト云フモノハ日本ニ於テモ滿洲國ニ於テモ共ニ成立ツヤウニシテ行カケレバナラス、滿洲國ケデ全部製油シテ内地ノ製油工場ヲ休マセルト云フコトハ適當デゴザイマセヌシ、又半面總テ滿洲國カラ原料ダケ寄越セ、内地ノ工場ニ於テ製油スルト云フ建前モ、現在既ニ滿洲國及ビ關東州ニ相當大規模ノ製油

工場ガアル現状ニ於キマシテハ適當デナイ、要スルニ兩者適當ナル所ニ於テ適度ナル調整ヲ取ツテ行ク、是ガ最モ現在ノ情勢ニ適シタ方針デアラウト存ジマシテ、滿洲國政府ハヤツテ居リマスガ、關東州ハ先程申上ゲマシタ重要産業統制令ノ運用ハ、特命全權大使即チ日本政府ガ之ヲ握ツテ居リマス、此ノ方針ニ依ツテ現在運用シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、是ダケ大體説明申上ゲテ置キマス

○松尾委員 只今ノ御説明デ餘程明瞭ニナリマシタ、尤モ今日ハ陸海軍其ノ他ノ重工業ノ殷盛ニ伴ヒマシテ、需要ノ激増シテ、居ル爲ニ特ニ最近ノ需要ニ應ズル爲メ多量ニ油及ビ原料ガナケレバナリマセヌ、併シ又承ル所ニ依リマスト相當價格ガ高クナツテ居ルト云フコトデアリマスガ、是等モ他ノ物價トノ關係ガアツテ私ハモツト下ガナケレバナラスト思フ、サウ云フ見地カラヤハリ今回ノヤウナコトヲナサレマシタナラバ、後ニ必ズ物價ヲ下ゲシメルヤウナ、手段方法モ講ジテ戴カナケレバナラス、思フノデアリマス、ソコデ只今ノ御説明ニ依リマスト別ニ不公平ナ取扱ヲシテ居ルモノデハナイ、ノミナラズ業者ノコトモ考ヘテ居ルト云フコトデアリマスノデ、満足致シマシタ、業者モ斯ウ

云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、今日此ノ案ヲ實施サレマスルト、原料ヲ滿洲國デ統制シテ、一會社ニ過ギナイ滿洲製油工場ニノミ、或ル程度ノ原料ヲ自由ニ取得セシメ、内地ニ極端ナル數的制限ヲ爲シタル上ニ、更ニ關稅撤廢ナル武器ヲ與ヘルコトハ意識的ニ滿洲製油業者ノミヲ考ヘ、内地製油業者ヲ無視シタル結果ニ外ナラヌト云フコトガ陳情ノ要旨デアリマスガ、私ハ門外漢デアリマスカラ實情ニ暗イノデアリマスガ、此ノ陳情ノ事柄ダケヲ考ヘマス、ソコニ何カ滿洲國ハ自己ノ國內ノ産業ヲ保護シテ、内地ノコトハ顧ミナイト云フヤウナコトガアツテハ、今後日滿支一體ノ經濟「ブロック」ノ上ニ立ツ日滿支ノ親善ノ上ニ於キマシテモ、是ハ採ラザルコトデアリマス、是ガ障礙ニナツテハイカスト云フコトヲ憂慮致シマスノデ、今御話ノヤウニ其ノ點モ能ク御考慮ニナツテ公平ニヤツテ居ル、内地ノ業者ノ方面ニモ決シテ壓迫ガ加ハリハシナイト云フ當局ノ御意見デアレバ、私ハ至極満足スルノデゴザイマス、只今滿洲方面ノ事業ハ統制ヲシテ居ラレルト云フコトデゴザイマスカラ、内地ノヤウニサウ自由氣儘ナコトハ出來ヌヤウニナツテ居ルノデ、政府ノ意思ニ從ツテ總テガ活動シテ居

ル状態デアルコトニ鑑ミマシテ、ドウカ今後ヤハリ斯ウ云フコトハ一方的ニ考ヘルコトノナイヤウニ、最善ノ御注意ヲ賜ラシコトヲ私ハ此ノ機會ニ於テ希望致シマス
ソレカラモウ一點伺ヒマス、ソレハ桐油ノコトニ付テモ陳情シテ居ルノデアリマスガ、油桐ヲ植栽スルコトヲ農林省ガ獎勵シテ居ルガ、ソレニモ拘ラズ、此方デ又之ヲヤラレルト、農林省ノ獎勵ニ反スルト云フデアリマス、是ハ大シク影響モナイト考ヘマスガ、サウ云フコトモ陳情書ノ中ニアリマシタカラ、ソレニ對シテドレダケノ影響ガアルカ、此ノ機會ニモウ一遍伺ツテ置キタイ

時局ニ鑑ミテ軍需用ノ必要ヲ考ヘテ滿洲國ハ日本トノ完全協力ノ建前カラ、是ノ第三國ヘノ輸出ノ防止其ノ他色々ノ政策ヲ考ヘテ居ルト云フコトダケヲ重ネテ申上ゲマスマス、是ハ油桐ノ栽培ヲ農林省ガ獎勵シ、其ノ實カラ出來ル桐油製造ニ付テノ獎勵ハ長イ間ヤツテ居ツタカト存ジマス、併シ桐油ハ御承知ノ通り日本デハ今マデ獎勵ヲヤツテ來テモ中々ソソナニ澤山採レナイノデアリマス、然ルニ桐油ノ産地ハ申上ゲルマデモナク支那ガ世界ニ於テ殆ド大部分ヲ占メテ居ルト云フ情勢デアリマシテ、其ノ支那ガ今日本ノ經濟的ノ勢力範圍ト申シマスルカ、經濟圈ニ入ツタ現在ニ於キマシテハ、日本ニ於ケル油桐ノ生産ト云フコトニ付キマシテモ大シテ打撃ノナイ限り相當考ヘル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、支那ハ桐油ハ約一億圓近クノ輸出ヲシテ居ルト云フヤウナ有様デアリマシテ、其ノ油ヲ日本ニ持ツテ來テ色々ノモノニ使フト云フコトハ、特ニ考ヘナケレバナラナイコトデハナイカト思フノデアリマス、其ノ桐油ハ塗料デアルトカ防水紙布デアルトカ「リノリウム」ノヤウナ工業原料ニ用ヒラレマスルノデ、何トカシテ之ヲ安ク澤山入ルヤウニシ

テ行ク必要ガアルト存ジマス、斯ウ云フヤウナ考デ之ヲ無稅ニシヨウト云フノデアリマシテ、斯ウ云フモノガ入ツタカラト言ヒマシテ農林省ノ獎勵デ今マデ生産シテ居ツタ程度ノ桐油ト申シマスルカ、油桐ノ栽培ト言ヒマスルカ、サウ云フモノガ一度ニ潰レテシマフト云フ程度ノモノデハナイト思ヒマス、ソレデハ税金ハドノ位ニナツテ居ルカト申シマスルト、從價ニシマシテ約四「パーセント」位デアリマシテ今マデ生産シテ居ル程度ノモノハソレデ潰レテシマフト云フヤウナ大キナ影響ハナイト思ヒマス、併シ是カラドン／＼盛ニシテ支那ト對抗シテ行クヤウナコトハ考ヘ及ビモ付カナイコトデアラウト存ジテ居リマス

○尾關政府委員 第十七號ノ二ト申シマスルノハ是ハ粟、黍及稗、一ガ粟、二ノ其ノ

○竹内(德)政府委員 只今ノ前半ノ方ハ御質問デモナイト思ヒマスカラ、御答申上ゲル必要モナカラウカト存ジマスガ、御意見ノ點ハ洵ニ御尤ト存ジマス、重ネテ申シマスルガ、滿洲國ニ於テモ現在ノ産業統制ノ方針ハ飽マデモ日滿共存共榮一體ノ見地カラ出發シテ居ルコトハ申上ゲルマデモナイ、隨テ先程陳情書ノ中ニアツタ一會社ヲ保護スルガ爲ニ此ノ方針ニ反スルガ如キ施設ヲヤルト云フコトハ、私共ノ想像出來ヌ所デアリマシテ、要スルニ現在行ハレテ居リマス「ヒマシ」油ニ關スル種々ノ統制ハ、現在

○岡崎委員長 私一寸質問ヲ致シタイ、此ノ案ニ對シテ十分私ハ了解致シマシタノ法案デ能ク分ラヌ點ガアリマス、ソレハ關稅定率法中改正法律案「第二十一號第四項中「每百斤」ヲ削リ」トアツテ、其後ノズウツト唯何號々ト書イテアリマスガ、之ヲ一寸言ツテ下サイマセヌカ

○尾關政府委員 第十七號ノ二ト申シマスルノハ是ハ粟、黍及稗、一ガ粟、二ノ其ノ

他ト云フハ此ノ中ト稗ト云フコトニナル譯

デアリマス、ソレカラ「第二十一號第四項

中」ト斯ウアリマスガ、第二十一號ノ第四

項ト申シマスルノハ綠豆デゴザイマス、第

二十三號中「ト云フノハ胡麻子デアリマス、

「第二十四號中」トアルノハ荏胡麻子デゴザ

イマス、第二十七號ノ二ト申シマスノハ桐

子デゴザイマス第九十七號ト云フノハ蓖麻

子油デゴザイマス

○岡崎委員長 ソコハ分リマシタ、桐油ト

云フノハ何處ニアリマス

○尾關政府委員 ソレハ百三號デゴザイマ

ス

○岡崎委員長 ソレ合計デ輸入金額ハド

ノ位ニナリマスカ

○尾關政府委員 全部デ千六百萬圓位ダト

思ヒマス

○岡崎委員長 更ニ御聽キ致シマスガ、昭

和七年法律第四號中改正法律案ノ中ノ「第十

九號ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ」ト云フノハ、

此ノ第十九號ト云フノガ分ラナイノデス、

是ハドウ云フ風ニシヨウト云フノデスカ

○尾關政府委員 昭和七年法律第四號ト申

シマスノハ是ハ從量稅ヲ課ケテ居ル品目、

ソレニ對シテハ原則トシテ三割五分ノ稅金

ヲ課ケルト云フ法律ナノデアリマス、但シ

例外ヲ置イテ其ノ三割五分ヲ課ケナイヤウ

ニシヨウ、其ノ例外トナルモノハ此ノ法律

ノ別表ニ加ヘヨウ、斯ウ云フコトニナツテ

居ルノデゴザイマス、モウ一度言ヒ換ヘマ

スレバ、此ノ法律ノ別表ニ載ツタモノハ三

割五分掛ラナイ、斯ウ云フ法律デゴザイマ

ス、今此ノ改正案ニ出テ居リマスル品物ヲ

見マスト、此ノ二十一號、豆類ノ中ノ蠶豆

ト云フノハ、今マデハ原則ノ方ニ屬スルモ

ノデアツテ、三割五分ノ稅金ガ掛ツテ居ツ

タノデアリマス、今マデノ關稅定率法ニハ

百斤五十五錢ト云フノガ、三割五分デ七十

四錢ノ稅金ガ掛ツテ居ツタノデアリマス、

ソレヲ今度三割五分ノ稅金ヲ掛ケナイヤウ

ニシヨウ、三割五分ダケ安クシヨウト云フ

ノデ、此ノ例外タル別表ニ載セルト云フコ

トニシタノデアリマス、此ノ別表ニ載ツタ爲

ニ三割五分ダケ掛ラナクナツタノデ、七十

四錢ノモノガ五十五錢ト云フコトニナル譯

デゴザイマス、ソレカラ棉子油モヤハリ同

ジ譯デアリマシテ、現在ハ四圓四十五錢ト

云フ關稅定率法ノ稅率ニナツテ居ルモノガ、

三割五分ダケ澤山掛ツテ百斤六圓ト云フ稅

率ニナツテ居リマス、之ヲ此ノ別表ニ載セ

マスト、六圓ノモノガ四圓四十五錢ト云フ

コトニナルノデアリマス、斯様ニ致サウト

思ツテ此ノ改正案ヲ出シタ次第デゴザイマ

ス

○岡崎委員長 此ノ蠶豆ト棉業油ト合計シ

テドレ位ノ輸入金額ニナツテ居リマスカ

○尾關政府委員 蠶豆百四十萬圓程デゴザ

イマス、棉子油ガ六萬四千圓程デゴザイマ

ス

○岡崎委員長 蠶豆ハドウ云フ目的ニ使ハ

レマスカ

○尾關政府委員 蠶豆ハ殆ド食用ニ供セラ

レテ居リマス

○岡崎委員長 ソレカラ前ノ方ヘ戻リマシ

テ、關稅定率法デスガ、千六百萬圓ノ中デ

輸入金額ノ一番大キイノカラ、ズツト順ニ

願ヒマス

○尾關政府委員 黍、稗二十八萬圓、蠶豆

ガ百四十萬圓、綠豆ガ五十萬圓、胡麻子ガ

四百四十萬圓、荏胡麻子ガ八百九十萬圓、

桐子ガ五萬圓「ヒマシ」油ガ五十萬圓、棉子浦

ガ六萬圓、桐油ガ四十六萬圓程デゴザイマ

ス、合セテ千六百萬圓餘ニナリマス

○岡崎委員長 政府委員ニ承リマスガ、此

ノ中デ見ルト胡麻子ト荏胡麻子ガ一番大キ

ナ金額デアリマスガ、是ハ農林省ノ方面ニ

於テ異議ハアリマセスカ

○尾關政府委員 農林省ノ方トモ能ク打合

セテ、篤ト諒解シタ上デ提案致シタノデゴ

ザイマス

○岡崎委員長 胡麻子、荏胡麻子ノ使用目

的ハ主トシテドウ云フ方面デアリマスカ

○尾關政府委員 胡麻子、荏胡麻子ハ主ト

シテ製油用デゴザイマス

○岡崎委員長 ドウ云フ製油デスカ

○尾關政府委員 胡麻子ハ胡麻油、荏胡麻

子ハ荏胡麻油ヲ製造スルノデゴザイマス

○岡崎委員長 私ノ質問ハ終リマシタ――

ソレデハ是デ散會致シマス

午後二時十分散會